

「神経変性疾患における新規バイオマーカーの探索——早期アルツハイマー病理における神経炎症シグナルの解明——」に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

神経変性疾患における新規バイオマーカーの探索——早期アルツハイマー病理における神経炎症シグナルの解明——

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2023年10月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、前頭側頭葉変性症、アルツハイマー病と病理診断された方、および剖検で神経変性疾患を有しないと確認された健常対照者

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2029 年 2 月 23 日まで

●研究の目的と概要

神経変性疾患の多くは家族性の遺伝的変化がなく孤発性に発症します。従って、孤発性疾患の病態の解明は重要な課題の一つです。そこで私たちは、アルツハイマー病などの孤発性神経変性疾患により発現が変化するタンパク質を探索し、ミクログリアの活性化について解析を行ってきました。この研究では、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、前頭側頭葉変性症において、異常発現するタンパク質・mRNA を検出し比較検討を行うことにより、新規バイオマーカーを探索します。

●研究の方法

アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、前頭側頭葉変性症の脳神経組織、疾患 iPS 細胞などを用いて、異常発現するタンパク質を二次元電気泳動法や質量分析法により、また mRNA を次世代シーケンサーや DNA マイクロアレイ法により調べます。

●研究に使用する試料・情報

上記 疾患患者の脳および神経の凍結組織。それに付随する臨床情報、病情報（性

別、年齢、死後時間、疾病罹患歴、一般身体所見、神経所見、認知機能検査、画像検査、病理学的解析結果など)

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子
名古屋大学環境医学研究所 山中宏二

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）